

令和3年度取組概要

1. 空き家なんでも相談会・セミナー
2. 空家等所有者への働きかけ
3. 課題検討部会
4. その他

1

1. 空き家なんでも相談会・セミナー

○R3開催方針のポイント

- ・昨年度に引続き、休日開催を盛り込むことで、利便性を向上
- ・5月、8月、1月に県内全域で開催
- ・8月は空き家対策強化月間とし、積極的な広報活動を実施
- ・県下一斉同時開催ではなく、地域ごとの有効なタイミングで開催
- ・自治会等の地域を対象としたセミナーも試行的に開催

年間42回の開催計画（R3. 2協議会）

○実績

	実施回数	参加件数
相談会	21回	83件
セミナー	6回	60名

※新型コロナウイルスにかかる緊急事態宣言等により、21会場が中止に

2

○地域ごとの実績

	相談会（回）	相談実績（件）	件／回
和歌山市	4	25	6.25
海草	2	17	8.50
那賀	2	7	3.50
伊都	5	12	2.40
有田	4	7	1.75
日高	2	4	2.00
西牟婁	1	5	5.00
東牟婁	1	6	6.00
合計	21	83	3.95

3

○成果の大きかった会場

開催日時・場所	参加人数	広報と特徴
8/8(日) 紀美野町美里支所	セミナー8人 相談7件	(広報) 町報、チラシ全戸配布 (特徴) 山間部での実施で参加者多数
12/5(日) 海南nobibos	相談10件	(広報) 市HP (特徴) 会場の立地が良く、図書館等が併設されているため、時間を潰せる
12/12(日) 粉河ふるさとセンター	相談6件	(広報) 市報 (特徴) 地域創生課が実施する外部講師によるセミナーと連携

○今後、検討すべき課題

課題点	検討すべき内容
事前準備の統一	相談内容の確認に時間を要し、持ち時間内に相談が終了しないケースが発生している。 事前の聞き取りや準備資料の方法を統一する必要がある。
コロナ対策	本年は21会場がコロナを理由に中止。 コロナ禍での開催方法についての検討が必要 一方でオンライン対応は参加者から不満があるという意見も。

4

2. 空家等所有者への働きかけ

○活用可能な空家等の掘り起こし

- ・空家等だけでなく居住や利用している建物の所有者等に対して、リーフレットを試行的に配布（R3. 12月～）
（海南市、橋本市高野口町にて全戸配布）



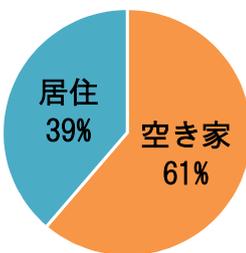
※市町村、振興局、空き家協定団体、金融機関の窓口等でも配布

2. 空家等所有者への働きかけ

○リーフレット回収状況（R4. 1月末時点）

配布：28,080通 海南市 21,771通、橋本市高野口町 6,317通
回収：209通（回収率：0.8%）

所有者の回答割合



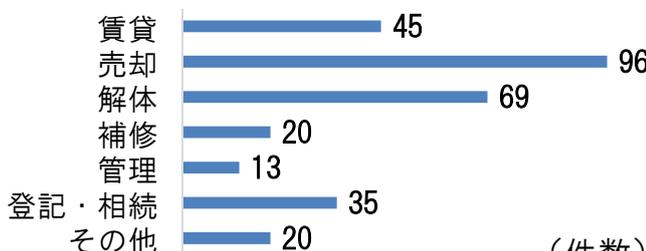
空き家の管理状況



- 1. 放置している
- 2. 管理（窓の開閉、草刈り等）している
- 3. その他

※空き家のうち、約25%は管理されていない状況

○相談の意向

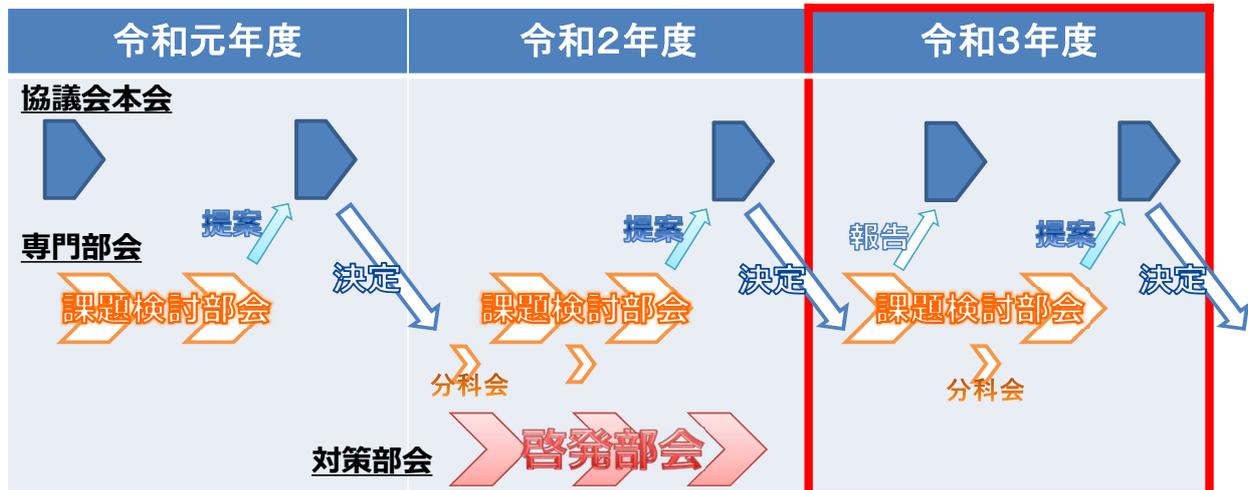


対応が必要

（件数）

3. 課題検討部会

- 課題検討部会（R1年10月から毎年度ごとに引続き開催）
 - ・各市町村の課題を共有し、解決に向けた検討。
 - ・毎年度ごとに引続き開催し、協議会として取組む事項を提案。
- 対策部会（単年度開催）
 - ・前年度の提案を受け、必要に応じ具体的な対策に取組む。



7

○第1回 開催概要

- 開催日時 令和3年5月25日（火）13:10～15:00
- 開催場所 和歌山県自治会館
- 部会長 印南町 白石企画産業課長
- アドバイザー 平田委員、藤田委員、木村委員
- 参加市町村 和歌山市、海南市、橋本市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、岩出市、紀美野町、湯浅町、有田川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、串本町（計20市町）
- 協議事項
 - ・自治体の経験値の蓄積について
 - ・国及び県制度に関する意見・提案等

○自治体の経験を事例集として整理

これまで各自治体で取り組んできた空き家対策に関する各種事例をとりまとめて、事例集として整理し、情報共有を行う。

地域ごとに分科会を開催し、事例集の作成検討

8

○分科会 開催概要

- ・各市町村の空き家対策取組み事例について、意見交換等を実施

和歌山・海草（3） 有田（4）	10月 6日 和歌山県民文化会館
那賀（2） 伊都（4）	9月27日 伊都振興局
日高（7） 西牟婁（3）	9月 3日 印南町役場
東牟婁串本（3） 東牟婁新宮（4）	10月 8日 串本町役場

空き家対策の取組事例に関する分科会での意見等

○各自治体の取組事例の共有

各分科会共通の内容・所感

- 対応のきっかけ ⇒ 近隣・地元住民、自治会、区長からの相談や通報
- 除却補助制度 ⇒ 解決に進む事例が多い

所有者・相続人多数、海外・遠方居住、大規模な空き建築物
⇒ 解決困難な事例が多い

○事例集のまとめ方

- ・解決できた事例と未解決の事例で分類
- ・事例を検索するキーワード
- ・写真を添付

○事例集の取扱い

- ・外部には公表せず、協議会・協定団体で共有
- ・各自治体空き家担当者の参考書

○第2回 開催概要

- 開催日時 令和4年1月24日（月）13:30～15:30
開催場所 Microsoft Temas（web開催）
部会長 印南町 白石企画産業課長
アドバイザー 平田委員、木村委員
代表市町村 海南市、かつらぎ町、印南町、みなべ町、串本町（5市町）
協議事項
・各分科会の取組報告
・相談会の取組方針
・次年度以降の取組みに関する検討・提案

○事例集について

- ・担当者研修会での協議会、協定団体で共有し、今後の空き家対策に活用
- ・未解決事例について、専門家等からコメントやアドバイスをいただき、次年度以降も更新しながら活用

○相談会について

- ・地域の回覧板や地元広報誌等を活用した広報の検討
- ・地域や自治会向けセミナーの開催

11

4. その他

○今年度の主な取組結果

- 田辺市が特定空き家の行政代執行を実施
 - ・県内初の空家法に基づく行政代執行
- 市町村の各種空き家対策事業において、国費を積極的に活用
 - ・R3年度は22市町村で活用（R4年度は24市町村が活用の意向）
- 空き家の活用体制強化
 - ・利用可能な空き家の掘り起こし

○今後の予定

- 課題検討部会での成果物（事例集）を配付
- 相談会対応の研修を実施（対象：総合相談員等）
- 特定空き家等の調査に関する研修会

12